

# 南丹市教育委員会会議録

令和3年第1回定例会

(令和3年1月21日)

## 令和3年南丹市教育委員会第1回定例会会議録

1. 日 時 令和3年1月21日(木)  
開会 午後3時30分 閉会 午後4時33分
2. 場 所 南丹市役所2号庁舎 3階302会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 教育長 木村 義二
5. 出席委員 教育長 木村 義二  
教育長職務代理者 武田 義史  
委 員 高屋 毅史  
委 員 城戸 貴子  
委 員 洲上 真奈美
6. 欠席委員 なし
7. 事 務 局 教育次長 中川 勇夫  
教育参事 榑 貢  
教育総務課長 柴田 裕子  
学校教育課長 山内 紀子  
学校教育課参事 平井 祐子  
社会教育課長 藤林 裕
8. 傍 聴 人 なし

### 日程1 開会

教育長が令和3年南丹市教育委員会第1回定例会の開会を告げる。

### 日程2 会議録作成者の指名

教育長から会議録作成者に柴田教育総務課長を指名する。

### 日程3 会議録の承認

## 日程4 報告事項

### (1) 主な行事報告等

(教育次長)

- 12月25日 市長と語ろう私たちのまちづくり
  - ・小学校 「コロナ禍をどう生きるか・何ができるか」
  - ・中学校 「人口減少や地域活性化」
- 1月4日 仕事始め、臨時校園長会議（年頭訓示）
  - 一点目、感染予防策について
  - 二点目、学力向上、地域道德の充実、GIGAスクール構想の実現について説示後、各校園長から年頭の抱負を報告した。
- 1月10日 南丹市成人式（二部制）
- 1月12日 校園長会議
  - 一点目、新型コロナウイルス感染症の予防対策の徹底について
  - 二点目、GIGAスクール構想について
  - 三点目、学校評価について
  - 四点目、学校運営協議会について
  - 五点目、教職員の表彰について説示後、事務局各課から報告・連絡を行った。
- 1月14日 GIGAスクール構想実務担当者研修

### (2) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告

## 日程5 議事

議案第1号 南丹市放課後児童健全育成事業に関する条例施行規則の一部改正について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明

[採決]

議案第1号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第2号 南丹市立小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明

(高屋委員)

府費負担教職員とは誰のことか。

(事務局)

非常勤職員や用務員等の市で雇用している方もあるが、それ以外の方は府費負担教職員である。

(武田委員)

高齢者部分休業や配偶者同行休業とは具体的にどのようなものか。

(事務局)

高齢者部分休業は、年度末年齢56歳以上の職員が対象で、加齢による身体的な事情への対応等やむを得ない場合において、勤務時間を減じて定年まで勤務することを承認することができる制度である。

配偶者同行休業は、外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にするための休業制度である。

(城戸委員)

送り仮名は正しいのか。

(事務局)

条文のルールによるものである。

[採決]

議案第2号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

## 日程6 その他

### (1) 行事予定

(事務局)

資料に基づき報告

### (2) 教育総務課から報告

### (3) 学校教育課から報告

(4) 社会教育課から報告

(5) その他

(委員)

スポーツ・文化賞表彰式について、出席予定者が28名とのことであるが、主催者等も含めて会場が密にならないのか。

(事務局)

定員150名の半分75名まで使用可能である。先日、市の表彰式も同じ会場で開催されたが、スポーツ・文化賞表彰式についても、換気を行い、出入り口での消毒など、予防対策を徹底したい。

(武田委員)

GIGAスクールで導入するタブレット端末について、リースではなく買い取りなのか。

(事務局)

1台あたり45,000円を上限に国から補助があり購入した。その他に、バージョンアップ等の管理をするシステム、通信費用、学校のWifiアクセスポイントの設置等の経費がかかっている。

(武田委員)

臨時休業の際に使用するのが本来の目的であると思うが、その準備は。

(事務局)

ネット環境のない家庭数を調査して、モバイルWifiを準備している。家庭に通信環境がある場合は、家庭の通信を使ってもらう予定である。

臨時休業になった場合、端末、充電器、ケーブルを持ち帰ることになる。

(城戸委員)

学校での充電方法は。

(事務局)

各学級ごとに充電保管庫を準備している。

(高屋委員)

故障の対応は。

(事務局)

教育委員会委員会で対応するが、故意の場合は家庭との相談になる。高額なもので、そういうことも含めて保護者に周知したい。

高校等では、最近、BYODといって、自分の端末を学校に持参して学校の通信を使って使用するケースもある。また、毎日持ち帰る自治体もあるが、持ち帰りについては故障や紛失も懸念されるので、当面は学校での使用としたい。

(城戸委員)

使用時間は徐々に増えていくと思うが、どの程度活用する予定か。

(事務局)

国がデジタル教科書を使用するガイドラインを作っている。今のところ、どれぐらいの割合でICTを使うのかは示されていないので、授業の一部で使うところから始めたい。

(城戸委員)

視力や読む力、視覚に関わる筋力の低下等、身体への影響についても懸念されるが、配慮いただきたい。

(事務局)

健康被害も一定言われており、海外で使用を中止した例もあると聞いている。成長期の子どもたちへの影響について、使いながら考えていかなければならない。

(武田委員)

画面で文を読むのと書面で読むのとは、使う脳の部分が違うと聞く。記憶に残りにくいことも心配される。

(事務局)

脳への入り方が違うので何を求めるのかによって、その都度、適切なものを使うことになる。ご指摘のとおり、デジタル機器はじっくり読む場合には適さないと思う。

(武田委員)

レシピコンテストについて紹介があったが、各校から応募があったのか。受賞者の学校が偏っているように思うが。

(事務局)

校園長会で案内し、すべての学校から応募があったが、食育等の取り組み等もあり受賞者の学校に偏りができた。

(渕上委員)

まんぷく賞については、給食調理場で試作されて先生方が試食された。来週には子どもたちへの給食として提供される。

(事務局)

アンケート等によると、コロナ禍で家庭で調理をする機会が増えたと聞くので、このタイミングでコンテストをされたことは子どもたちの励みになったと思う。

[次回定例会について]

(教育長)

次回の定例会の日程について令和3年2月10日(木)午後3時30分から開催する。

(委員)

教育長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午後4時33分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第18条第2項の規定により、ここに署名する。

令和 年 月 日

南丹市教育委員会教育長

南丹市教育委員会教育長職務代理者

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長